

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	浦和大学短期大学部
設置者名	学校法人九里学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
	介護福祉科	夜・通信			66	66	7	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://www.urawa.ac.jp/about/jitsumu.html

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	浦和大学短期大学部
設置者名	学校法人九里学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

http://www.urawa.ac.jp/urawa-info/wp-content/uploads/2020/07/j_2019_jigyoku.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	前職：私立高等学校校長、 私立中学校校長	2017年4月1日 ～ 2021年3月31日	法人全体の運営及び 管理統制
非常勤	現職：有限会社取締役副社長 兼総務部長	2017年4月1日 ～ 2021年3月31日	法人全体の運営及び 管理統制
非常勤	現職：地方銀行監査役	2017年4月1日 ～ 2021年3月31日	法人全体の運営及び 管理統制
非常勤	現職：株式会社監査役	2017年4月1日 ～ 2021年3月31日	法人全体の運営及び 管理統制
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	浦和大学短期大学部
設置者名	学校法人九里学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) ・授業計画(シラバス)の作成過程 すべての授業科目について、担当教員はシラバス記載要領に従ってシラバスを作成し、指定の期日までに教務課に提出する。シラバス記載要領では、①授業の方法及び内容、②授業スケジュール、③到達目標、④成績評価の方法・基準、⑤実務経験の有無などを、記載することになっている。提出されたシラバスは、記載要領に従って正しく記載されているかが教務委員によってチェックされ、必要に応じて修正され、完成となる。 ・授業計画の作成・公表時期 各年度のシラバスは前年度内に作成され、各年度初めのオリエンテーションの時期に学生に配布され、公表される。	
授業計画書の公表方法	http://www.urawa.ac.jp/urawa-info/wp-content/uploads/2020/04/2020_kaigo.pdf
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) ・単位授与又は履修認定の厳格かつ適正な実施状況 単位の授与又は履修の認定については、各教員は、あらかじめシラバスの成績評価の欄に記載した方法・基準に従い、①学修意欲の把握、②試験やレポート、③卒業発表などによって、各学生の学修成果を厳格かつ適正に評価し、単位授与又は履修認定をしている。	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) ・GPA等の客観的な指標の具体的な内容 $S(90\text{点以上})=4.0$、$A(80\text{点以上}\sim 90\text{点未満})=3.0$、$B(70\text{点以上}\sim 80\text{点未満})=2.0$、$C(60\text{点以上}\sim 70\text{点未満})=1.0$として、$GPA=(4.0\times S\text{の修得単位数}+3.0\times A\text{の修得単位数}+2.0\times B\text{の修得単位数}+1.0\times C\text{の修得単位数})\div\text{総履修登録単位数}$、で算出する(小数第3位を四捨五入)。 ・客観的な指標の適切な実施状況 GPAは上記方法により算出され、各学生のGPAは成績通知書に記載され、学生・保護者に知らされている。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	http://www.urawa.ac.jp/urawa-info/wp-content/uploads/2020/04/2020_handbook_2.pdf

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) - 卒業の認定に関する方針の具体的な内容 卒業認定に関する方針は次のとおりである。 - あらゆる介護場面に共通する基礎的な介護の知識・技術を、根拠に基づいて理解し、修得しており、介護に関する社会保障の制度、施策について基本的に理解している。 - 円滑なコミュニケーションの取り方の基本を身につけており、的確に記録・記述の方法を身につけている。 - 他者に共感でき、相手の立場に立って考えられる姿勢を身につけている。 常に自分の考えを対象化し検証する姿勢と、他者と社会から学び続ける姿勢を身につけている。さらに、人権擁護の視点、職業倫理を身につけている。 - 生活に支援を必要とする人の状態を丁寧に観察し、必要な知識がどのようなものであるかを判断することができる。支援に必要な情報を収集し、被支援者本位で判断し、自立支援に資するサービスを総合的、計画的に提供する職業使命を自覚し、その能力向上の必要性を理解している。 - 卒業の認定に関する適切な実施状況 こうした方針に踏まえ、教育課程が編成され各科目群に卒業必要単位数が割り振られている。よって、学生は各科目群の卒業必要単位数をすべて修得することで卒業認定候補者となり、教授会の審議を経て、卒業が認定される	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	http://www.urawa.ac.jp/about/policy.html

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	浦和大学短期大学部
設置者名	学校法人九里学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.urajitsu.ed.jp/hyouka/02_Bs2019.pdf
収支計算書又は損益計算書	http://www.urajitsu.ed.jp/hyouka/04_Babs2019.pdf
財産目録	http://www.urajitsu.ed.jp/hyouka/01_Pi2019.pdf
事業報告書	http://www.urajitsu.ed.jp/hyouka/05_Br2019.pdf
監事による監査報告(書)	http://www.urajitsu.ed.jp/hyouka/06_Ar2019.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:	対象年度:
公表方法:	
中長期計画(名称:	対象年度:
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 介護福祉科
教育研究上の目的（公表方法： http://www.urawa.ac.jp/about/information.html ）
（概要） 「実学に勤め徳を養う」の建学の精神に基づき、幅広い知識に基づいた実学教育を行い、社会が求めている生活を支援できる人材を育成する。学内外の学びから豊かな人間性を涵養する。基礎的な介護の知識・技術と介護に関する社会保障の制度等についての知識を習得し、介護技術とコミュニケーションの実践力と、人権擁護の視点・職業倫理を身につけ、職業人に相応しい判断力が身につけている人材を育成する。
卒業の認定に関する方針
（公表方法：http://www.urawa.ac.jp/about/policy.html#care-and-welfare-policy） （概要） 1. あらゆる介護場面に共通する基礎的な介護の知識・技術を、根拠に基づいて理解し、習得しており、介護に関する社会保障の制度、施策について基本的に理解している。 2. 円滑なコミュニケーションの取り方の基本を身につけており、的確な記録・記述の方法を身につけている。 3. 他者に共感でき、相手の立場に立って考えられる姿勢を身につけている。常に自分の考えを対象化し検証する姿勢と、他者と社会から学び続ける姿勢を身につけている。さらに、人権擁護の視点、職業倫理を身につけている。 4. 生活に支援を必要とする人の状態を丁寧に観察し、必要な知識がどのようなものであるかを判断することができる。支援に必要な情報を収集し、被支援者本位で判断し、自立支援に資するサービスを総合的、計画的に提供する職業使命を自覚し、その能力向上の必要性を理解している。
教育課程の編成及び実施に関する方針
（公表方法：http://www.urawa.ac.jp/about/policy.html#care-and-welfare-policy） （概要） 1. 一般教養科目、自由履修科目、介護福祉科目の 3 つの分野に大別し、学位授与の方針と整合性を保つよう編成する。 2. 介護福祉科目は、「人間と社会」「介護」「こころとからだのしくみ」の 3 つの領域に分かれ、「介護」および「こころとからだのしくみ」については必修科目を配置し編成する。 3. 各分野においては、「知識・理解」「技能・表現」「関心・意欲・態度」「思考・判断」が習得できるよう均衡の取れた授業科目を配置する。 4. 「知識・理解」を主たる目的とする科目については、既に修得している知識を確認した上で、さらに知識・理解が進むように編成する。 5. 「技能・表現」を主たる目的とする科目については、幅広い演習・実習科目を配置し、目標とする技能が修得できるよう編成する。 6. 「意欲・関心・態度」を主たる目的とする科目については、キャリア教育の科目および介護実習等の科目を配置し、最も重要視して編成する。 7. 「思考・判断」を主たる目的とする科目については、実習における振り返りや、ロールプレイ等の教育活動の展開を工夫して行う。
入学者の受入れに関する方針
（公表方法：http://www.urawa.ac.jp/about/policy.html#care-and-welfare-policy）

(概要) 専門職としての知的探究心に富み、基礎学力と専門分野への知的関心があること。これまでの生活の中から、友人関係、家族関係、広く社会において、人との関わりを通し、コミュニケーション能力が蓄積されていることが必要である。また、ボランティア活動等を通して、人と関わる仕事の特徴を理解できていることが望ましい。
--

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法： http://www.urawa.ac.jp/about/policy.html#care-and-welfare-policy

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	人	－					人
介護福祉科	－	5 人	3 人	1 人	人	人	9 人
	－	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
3 人		9 人					12 人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： http://www.urawa.ac.jp/about/information.html					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
介護福祉科	60 人	21 人	35.0%	120 人	43 人	35.8%	人	人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	60 人	21 人	35.0%	120 人	43 人	35.8%	人	人
(備考)								
b. 卒業者数、進学者数、就職者数								
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他				
介護福祉科	18 人 (100%)	0 人 (0%)	18 人 (100%)	0 人 (0%)				
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)				
合計	18 人 (100%)	0 人 (0%)	18 人 (100%)	0 人 (0%)				
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)								
(備考)								

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
授業科目について重要なことは、シラバスに記載されている。すなわち、各授業科目のシラバスには、①授業の方法及び内容、②授業計画（スケジュール）、③到達目標、④成績評価の方法・基準、⑤実務経験の有無などが、記載されている。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 単位の授与又は履修の認定については、各教員は、あらかじめシラバスの成績評価の欄に記載した方法・基準に従い、①学修意欲の把握、②試験やレポート、③卒業論文などによって、各学生の学修成果を厳格かつ適正に評価し、単位授与又は履修認定をしている。				
学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	介護福祉科	70 単位	有・無	単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<http://www.urawa.ac.jp/about/information.html>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
	介護福祉科	630,000 円	250,000 円	280,000 円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 令和2年度より本学独自の修学支援として、家計基準による修学支援制度があり、授業料・施設設備費について減免(50%)を実施している。遠隔地出身学生への家賃補助制度、私費留学生対象授業料減免、九里總一郎記念奨学金、資格取得者を対象とした特別奨学金(学習奨励費)、通学定期代の一部補助制度等、多様な修学支援制度を用意している。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) キャリアガイダンスを必須講座として半期に一度開催。就職支援セミナーとして、①キャリアプランニングセミナー、②カルチュラルクラス(プロの仕事を学ぶ講座)、③公務員試験対策講座等を実施し、低学年より進路選択について考えるプログラムを複数用意。また、学生の適性を理解するようキャリアガイダンス内にて適性検査を実施。埼玉労働局・ハローワーク浦和、就職支援企業との連絡協議を適宜行い、学内指導でも具体的な支援を受けている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 看護師の資格を持つ常勤が、定期健康診断やけが等の応急処置、健康相談等に対応している。また、学生相談室は、学年暦の授業期間にあわせ、毎週木曜日 9:00～18:00 は臨床心理士の資格を持つ職員が学生の心理的、精神的な相談に応じている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<http://www.urawa.ac.jp/about/policy.html#care-and-welfare-policy>